

当院にかかりつけの妊婦のみなさまへ 新型コロナウイルス感染症対策について

1. はじめに

先の見えないコロナ禍の中、特に妊娠中のみなさまは様々な不安を抱えながら過ごされていることとお察し申し上げます。我々産婦人科スタッフ一同は、みなさまの安全な出産を全力でサポート致しますので、どうかご安心下さい。

2. 当院での新型コロナウイルス患者の受入れについて

当院は地域の基幹病院として当初より受入れています。病棟は新型コロナウイルス患者の専用病床として1フロアを当てており、入院の経路やエレベーターも一般の患者さんとは別となっています。これまで入院中の患者さんから感染が広がったことは一度もありません。

3. 妊娠中の新型コロナウイルス患者の受入れについて

新型コロナウイルス専用病棟への入院は可能です。入院中は状況により抗体カクテル、レムデシビル、ステロイド療法等の治療も可能です。主治医は産婦人科医師となりますが、治療に際しては内科医師と協力しつつ実施致します。ただし、重症化した際は転院が必要となります。陣痛が始まった際は陰圧装置を配備した別フロアの1室で経膣分娩も可能ですが、状況により帝王切開を選択することもあります。現在、専用病棟は満床のことが多くなっていますが、当院にかかりつけの妊婦のみなさまは、責任をもって対応する方針ですのでご安心下さい。

4. 母子感染予防

新型コロナウイルスは感染しても無症状のこともあり、知らない間に家族や周辺の人に感染させてしまうことがあります。出産後の母子接触では児に感染させる可能性もあります。このような事態を極力避けるため、妊娠37週前後でのPCR検査をお勧めしています。妊婦健診当日に自宅で唾液を専用容器に採ってお持ち頂くだけで検査できます。申請書類を提出することにより、無料で検査できますので、ぜひご利用下さい。

5. 新型コロナウイルスのワクチン接種

妊娠中も接種は可能です。もちろん副反応のリスクはありますが、一般の方と比較して特に強く出る訳ではありません。妊娠後期に感染すると重症化することが知られており、接種をお勧めしています。当科では妊婦の方やご主人（パートナー）、12歳以上のお子さまにも接種できるよう準備を進めています。ご希望があれば妊婦検診時にご相談下さい。電話による予約はできませんのでご了承下さい。

